

研究機関：広島大学

研究課題名	胆道癌における FISH, mRNA 及び microRNA 測定の有用性に関する検討
研究責任者名	広島大学病院 病理診断科 教授 有廣 光司
研究期間	(倫理委員会承認後)～ 2023 年 12 月 31 日
対象者	2015 年 1 月から 2017 年 12 月の間に、広島大学病院病理診断科で胆管細胞診検査を受けられた患者。
意義・目的	細胞診の判定では、目視によるパパニコロウ染色で、良悪性の鑑別が行われています。目視では、鑑別困難となる細胞像があり、臨床医は検査を繰り返す必要があります。本研究では、細胞診における miRNA 発現変化及び遺伝子の数的変化が良悪性の鑑別に有用であることがわかると、細胞診の精度向上に非常に意義があるため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報と細胞診検体を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	該当なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院病理診断科 教授 有廣 光司
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5591 広島大学病院 病理診断科 教授 有廣 光司